

平 支 第 395 号

令和 6 年 3 月 4 日

保護者 様

大阪府立平野支援学校

校長 川村 典子

令和 5 年度 「学校教育自己診断」 アンケート結果等について（お知らせ）

平素より本校教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびは学校教育自己診断の実施にあたり、保護者の皆様にはご協力をいただき、ありがとうございました。別紙にてアンケート結果をお知らせします。今回の結果をふまえ、今後の教育活動に活かせるよう、教職員一丸となって取り組んでまいります。

今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【本件に関する問い合わせ】

首席：橋本万以子

Tel : 06-6707-6731・6751

令和5年度
学校教育自己診断 結果

大阪府立平野支援学校

学校教育自己診断アンケート結果にかかる考察等について

1. 集計方法について

(1) 「わからない」については、全体数に含めて算出している。

2. 回収率について

		小学部	中学部	高等部	学部外	全体	全体(R04)
【保護者】	回収数	12	10	12		34	46
	回収率	54.5%	76.9%	42.9%		54%	66%
【教職員】	回収数	18	11	21	5	55	69
	回収率	85.7%	84.6%	91.3%	125%	90.2%	100%
【児童生徒】 ※	回収数	0	5	2		7	35
	回収率	0%	45%	10%		14%	50%

※【児童生徒】の回答の留意点については、次のとおりお知らせした。

- ・ 「自筆での回答、もしくは保護者の聞き取りによる代筆で回答できる場合は、ご提出ください。」(児童生徒用)
- ・ 「お子様が[児童生徒用]での回答が難しい場合、[保護者用]でお子様と一緒に考えてご回答いただいても差し支えありません。」(保護者用)

3. 集計結果について

(1) 肯定的回答率上位の5項目(数値が同数の場合、5項目以上記載)

【保護者】

No	診断項目	数値
1	子どもの様子から、学校へ行くことを楽しみにしていると感じられる。	100%
2	学校の授業は、体験的な学習や活動を積極的に取入れるなど工夫がなされている。	100%
3	学校行事は、子どもが積極的に参加できるように工夫されている。	100%
5	学校は「個別の教育支援計画」および「個別の指導計画」を活用し、個に応じた教育を行っている。	97.1%
11	学校は、ホームページやマチコミメール(緊急連絡システム)等を活用して、積極的に情報を発信している。	94.1%
13	教職員は、子どもの障がいをも正しく理解して、指導を行っている。	94.1%
15	学校は、子どものことについて保護者の悩みや相談に適切に応じてくれている。	94.1%

【教職員】

No	診断項目	数値
15	学校は、地域の学校園との「交流及び共同学習」に積極的に取り組んでい	100%

	る。	
6	私は、教育活動の工夫・改善を行っている。	98.2%
24	私は、児童生徒の健康管理についての対応を、クラス等で協力し行っている。	98.2%
17	私は、児童生徒の人権を十分に尊重したうえで、教育活動を行っている。	96.4%
18	私は、担当クラスの児童生徒の障がいについて理解している。	96.4%
28	学校では、児童生徒の個人情報を守られている。	96.4%

(2) 肯定的回答率下位の5項目

【保護者】

No	診断項目	数値
7	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	35.3%
19	医療的ケアについて、適切な対応や情報交換が行われている。	52.9%
12	学校では、PTA活動が活発に行われている。	58.8%
8	学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	70.6%
16	児童生徒会活動は、活発に行われている。	73.5%

【教職員】

No	診断項目	数値
12	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	69.1%
2	学校は、教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境になっている。	74.5%
23	学校は、バス会社と連携が取れている。	74.5%
10	学校は、児童生徒の発達段階に応じた進路支援を行っている。	76.4%
19	学校は、児童生徒が使いやすいように、施設・設備を整備している。	78.2%

(3) 「わからない」の合計数の上位5項目

【保護者】

No	診断項目	R05 (R04)
7	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	22 (18)
19	医療的ケアについて、適切な対応や情報交換が行われている。	16 (10)
8	学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	10 (9)

16	児童生徒会活動は、活発に行われている。	9 (10)
12	学校では、PTA 活動が活発に行われている。	8 (7)

【教職員】

No	診断項目	R05 (R04)
23	学校は、バス会社と連携が取れている。	13 (5)
12	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	11 (14)
10	学校は、児童生徒の発達段階に応じた進路支援を行っている。	8 (5)
13	学校では、児童生徒が学級担任以外の教職員とも気軽に相談することができる。	6 (1)
22	学校は、児童生徒の指導・支援について、学部間の引継ぎや連携をうまく行っている。	6 (7)

(4) 自由記述欄について

【保護者】【教職員】とも、次のとおり実施した。

- ①診断項目に対して、関連する番号と意見を記入
- ②診断項目以外で、学校教育全般についての意見を記入

【保護者】

上記①について、複数の意見なし。

【教職員】

上記①について、複数の意見があった項目は次のとおり。

1	学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている。
「働き方改革に関するアンケート実施」や「勤務時間の月毎報告」等の意見が2件あった。	
27	学校は、「個別の教育支援計画」および「個別の指導計画」を活用し、個に応じた教育を行っている。

「様式改定」に関する意見が2件あった。

4. 考察について

【保護者】

ほとんどの項目で肯定的回答率が80%以上の評価（20項目中13項目）をいただいております、一定の評価は得ていると考えられる。

以下の項目は、他と比較して肯定的回答率が低い。

7	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	35.3%
---	---------------------------------------	-------

肯定的回答数は12件、否定的回答数0件、「わからない」の回答が22件であった。「学校いじめ防止基本方針」を作成して本校ホームページに掲載しているが、いじめ事案に対する校内対応がなかったことから、校内体制がどのようなものか不明な保護者が多く存在すると思われる。

19	医療的ケアについて、適切な対応や情報交換が行われている。	52.9%
----	------------------------------	-------

肯定的回答数は18件、否定的回答数0件、「わからない」の回答が16件であった。通学籍、訪問籍を合わせて医療的ケアを要する児童生徒は20名（通学籍14名、訪問籍6名）ということから、医療的ケアを要する児童生徒の保護者からは一定の評価を得ていると考えられる。

12	学校では、PTA活動が活発に行われている。	58.8%
----	-----------------------	-------

「あまりあてはまらない」の回答6件、「わからない」の回答が8件であった。コロナ禍前同等のPTA主催行事（ソフトボール大会等）などの案内がされなかったことから、活発に行われていないと感じる保護者が多いと考えられる。

【教職員】

30項目中、肯定的回答率が100%が1項目、90%台が13項目、80%台が11項目、70%台が4項目、60%台が1項目であった。

次の項目は、肯定的回答率が低い。

12	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	69.1%
----	--	-------

肯定的回答数は38件、否定的回答数6件、「わからない」の回答が11件であった。学期に1回いじめ防止等委員会を開催し、学校いじめ防止基本方針を定期的に見直し昨年度より学校ホームページにも掲載している。いじめ事案に対する校内対応がなかったことから、校内体制が浸透していないと考えられる。

2	学校は、教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境になっている。	74.5%
---	--	-------

自由記述回答にもあるように、特定の教職員に仕事量が偏っていると考える教職員が一定数いることが原因ではないかと考えられる。

23	学校は、バス会社と連携が取れている。	74.5%
----	--------------------	-------

肯定的回答数は41件、否定的回答数1件、「わからない」の回答が13件であった。通学バス担当とバス会社のやりとりに関わる教職員が限られているため、「わからない」の回答が多かったと考えられる。

【児童生徒】

10 項目中、肯定的回答率が 80%以上の評価は 5 項目であった。次の項目は、肯定的回答率が低い。「わからない」の回答数が半数近くを占めたことが影響している。

5	クラスの先生以外の先生とも気軽に相談することができる。	28.6%
---	-----------------------------	-------

否定的回答数 1 件、「わからない」の回答が 4 件であった。設問 9「先生は、私のことについてよく理解してくれている。」の肯定的回答率 100%であったことから、クラスの先生に比べて関わりの少ない先生との関わりに課題を感じている生徒が、否定的な回答をしていると考えられる。

3	将来の進路や生き方について考える機会がある。	42.9%
---	------------------------	-------

否定的回答数 2 件、「わからない」の回答が 2 件であった。教育活動の全ては「生きるために必要な力の育成」であり、「進路選択を見据えた取り組み」である。毎日の取り組みが、将来の進路や生き方について考える機会である意識づけが低いのではないかと考える。

4	先生は、いじめについて私が困っていることがあれば真剣に考えてくれる。	42.9%
---	------------------------------------	-------

いじめ事案に対する校内対応がなかったことから、「わからない」の回答が 4 件であった。

5. 学校運営協議会での意見

- ・アンケート配付様式を Google フォームへ変更したことは、アンケート集計の容易さにつながり、教職員の働き方改革になっている。しかし、回答を後回しにしてしまい、昨年度より回収率が低くなったのではないかと。